

## 令和8年度 第1学期始業式 式辞

皆さん、おはようございます。

年度初めにあたり、西舞鶴高校の校訓をもとに、皆さんに意識してほしいことをお伝えします。

まずは、「究理」。

「真理を求め勉学に努める」とは、当然「自身が納得のいくまで学ぶこと」だと思います。そして「学ぶ」とは、ロボットや生成AIにはない、人だけが持つ、皆さんの中の感性を磨くことだと思っています。深く学ぶことで、それまでただの「モノ」や「コト」であった物事の「意味」、「理由」、「法則」といった本質的な部分を解釈する目が養われていくと思います。もちろん人によって解釈は異なりますが、重要なのは、人には、それぞれが解釈したものをもとに、自分なりの新たな視点や表現方法を生み出していく力があるという点です。その力が感性です。学ぶことに真摯でなければ、今皆さんが生きている世の中の物事をただ見ているだけになってしまいます。だからこそ、真摯に勉学に向き合い、感性を磨いてください。

つぎに、「尚志」。

「高い理想を抱き、その実現に努める」とは、「あきらめない心と柔軟な発想を持ち続ける」ことだと思います。例えば、小型ロケットと専用宇宙港による統合サービスで「欲しい時に欲しい軌道へ」という理想の標準化に挑んでいるロケットベンチャー企業「スペースワン」が良い例ではないかと思っています。衛星打ち上げは、普通、大型ロケット打ち上げに相乗りで、そのスケジュールに左右されます。スペースワンは自社宇宙港、自社開発ロケットで衛星の宅配業者的な存在を目指すという非常に困難ですが、新たな形のゴールを目指しています。確かに未だ打ち上げには成功していませんが、失敗しても課題を一つひとつクリアして、次の打ち上げに挑戦しようとするあきらめない心は称賛に値します。どんな理想でもいいと思います。挑戦の中で失敗してもそこから得るものはあります。挑戦する前にできない理由を探すより、視点を変えて自分ができる他の方法を探す努力が大切です。そうすればプロセスすべてが皆さん自身の財産になるはずです。

最後に、「敬人」。

学校をはじめ、社会に生きる人にとって「人を敬愛し、誠実に生きる」ことはとても大切なことです。そして、誰もが幸せになるために、人と人がつながることは大きな力を生みます。人はジグソーパズルのピースと同じように一人ひとりがデコボコで異なります。しかし、探究活動等での地域連携や学校行事など、いろいろな人がつながり組み合わせることで強固な形や力となります。お互いに他者の個性や価値観を認め、その良さを理解し生かすことが強い集団を作ると思います。

「山は樹を以て茂り、国は人を以て盛んなり」という言葉があります。「山に樹木が茂るように、国は人によって栄える」という意味です。学校に置き換えたなら、「学校は生徒を以て盛んなり」となるのでしょうか。高い理想を持って、学び続ける、そして仲間や学校外の方々と互いに尊重しながらつながることで、皆さんの成長と学校の発展につなげてください。

さて、2年生の皆さんは、普通科ではコース別になり、理数探究科でも選択する科目によって、目指す未来がより明確になると思います。日々の授業、家庭での学習を大切に、希望進路の実現に向けて頑張りましょう。「授業を大切にする」とは、「授業を受ける」のではなく、「授業で学ぶ」ということです。試行錯誤しながら丁寧に取り組み、自身の成長を実感できる学びを積み上げてください。

3年生の皆さんは、いよいよ最終学年、最高学年です。一つひとつの行事、部活動の大会等が高校生活最後のものとなります。困難や壁は必ずあります。しかし、あきらめない挑戦をほしいと思います。それぞれが目指すところを見据えて、前向きな姿勢で挑戦を続けた人にしか見ることができない景色がそこにはあります。教職員一同、全力でサポートしていきますので、ともに頑張りましょう。

明日入学してくる新入生も含め、生徒である皆さん一人ひとりが西舞鶴高校の主人公であり、皆さん一人ひとりの学習、部活動や探究活動等と向き合う姿勢が西舞鶴高校の歴史と伝統に刻まれていきます。

そして、西舞鶴高校は、みなさんの夢をかなえる場所です。西舞鶴高校での一日一日が、皆さんの夢の実現につながっています。本校が守り続けている「努力と友情」の精神を発揮し、皆さん一人ひとりの成長と挑戦に期待しています。我々教職員とともに、大きな力となり、活気あふれる学校を作り上げていきましょう。

以上、令和8年度 第1学期 始業式 式辞とします。

令和8年4月8日  
校長 田中 重春